

「子育て」をテーマに活動する団体とのワークショップ
平成23年7月6日(水)午前9時30分～11時30分 Aグループ

| 見出し | 良い点/改善点 | 内容 |
|-------------------|---------|-------------------------------------|
| 全体 | 良い点 | 支援が広がっている |
| | | 改めて「協働」を再認識することができる |
| | | やっと行政とつながりはじめた |
| | | インパクトがある |
| | | マニュアルができたことが大きな第一歩 |
| | | よくまとまっていて、見やすい |
| | | キャラクターが良い |
| | | 協働がわかりやすい |
| | 改善点 | 受け手で印象が変わる |
| | | 文章量とイラストの配分 |
| | | 内容がよくわからない |
| | | 文章が多く、見てもらえないかもしれない |
| | | 目次は見ないかもしれない |
| | | 「共催・共同・後援」の意味、語句説明がほしい |
| | | データに頼ると細かいニーズが埋もれてしまう可能性が有る |
| | | アンケートだと少数意見が反映しにくい |
| 協働のイメージをうまく伝えられるか | | |
| 第一印象 | 改善点 | 長にゃんについて紹介がほしい |
| | | 何かわからないので題名に工夫を |
| 特に第二章 | 良い点 | 市から情報発信をしてもらうことは良い |
| | 改善点 | 施設ごとの窓口ではなく、相談内容に応じた窓口を目的別にしてほしい |
| | | どのような相談にのってもらえるかがわからず、どんな時の窓口かわからない |
| | | 出前ミーティングなどの情報の掲示 |
| | | 広報等で市民やグループが情報発信するにあたっての条件明記 |
| | | 可能なら細かいところまで明記できれば |
| | | 講師を探したり、講師として手伝いたい場合の一覧がない |
| | | 人材紹介の項目があれば良い |
| | | イベントを実施した際には広報担当者などに見に来てもらいたい |
| | | 実施前・実施後にかかわらず情報発信をしてほしい |
| 活動発信の場の記載 | | |
| 今困っています | 改善点 | 会場の確保が難しい→こらさ以外の紹介も |
| | | 講師の確保 |
| | | 行政とつながりがないところの活動のフォロー |
| | | 声の上がる団体しか活動の情報が載らない |
| | | 活動の紹介やフィードバックを広報に掲載してほしい |
| 行政への要望 | 改善点 | 待つだけでなく能動的に |
| | | 広報に掲載されるだけでは人が集まりにくくなった |

「子育て」をテーマに活動する団体とのワークショップ
平成23年7月6日(水)午前9時30分～11時30分 Bグループ

| 見出し | 良い点/改善点 | 内容 |
|-----------|---------|---|
| マニュアル全体 | 良い点 | 出会い編、活動編、熟成編の三部構成 |
| | | 長岡京市は協働という基盤があるから、このマニュアルが出来たのか？ このマニュアルによって助成金があるかどうか分かり、市役所が手伝ってくれるかもしれないと思える |
| | 改善点 | どういう活動をしている団体があるのか資料編につける |
| | | 職員の意識が統一されるマニュアルがあるべき(異動で人が変わってもやり方が変わらないように) 市民・行政共により熟す必要がある。それが、どこまで出来ているのかも載せる |
| マニュアルの対象 | 改善点 | 活動が初心者向きではない |
| | | タイトルに対象者を。例えば、「～活動を始めた人へ～」など |
| | | 協働までの基盤づくりのページがない |
| | | 立ち上げるよりも入るための詳細が必要なのでは？ その時その時の本当に困っている人に役立つのか？ |
| マニュアルの配布 | 改善点 | 助成金申請書と一緒に渡しては？ |
| サポートセンター | 良い点 | いきなりボランティア団体に連絡することは勇気がいる。その点サポセンが役に立っている |
| 後援と共催 | 良い点 | 後援よりも共催の方がよい |
| | 改善点 | 後援してもらうことの意義(効果)がわからない 後援をとっても自分たちでいろいろしなくてはならない。(自分たちで小学校に電話した。) |
| 財政支援・活動基盤 | 改善点 | HPのバナー料金が高い |
| | | 基盤もお金がいる |
| | | 助成金のあり方は要検討。人件費がなくては活動が続かない |
| 協働による支援 | 改善点 | 特に個人個人にサービスを提供する形態の活動を存続させるための協働のあり方 |
| | | 広報・ホームページで「協働」を優遇してもらえる仕組みがほしい |